

# 2年社会科 地理 年間指導計画 (55 時間程度) 2026 年度

学 期	時 限	学習内容・学習活動
<b>第3部 日本のさまざまな地域</b>		
<b>第2章 日本の地域的特色</b>		
1	1	日本の山地や造山帯の特色を理解する。
	2	日本の川と平野、海洋の関係や特色を理解する。
	3	日本の気候の特色や地域による違いを理解する。
	4	日本で発生する自然災害の特色を理解し、地形や気候など自然環境との関連や課題を考える。
	5	日本で取り組まれている防災や減災の取り組みを理解し、自然災害に対する備えを考える。
	6	日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を理解し、人々の生活に及ぼす影響を考える。
	7	日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について考える。
	8	日本の工業・商業の特色や課題、変化を理解する。
	9	日本の交通網や通信網が発達したことによる変化や課題を理解する。
	10	いくつかの視点をもとに日本を区分すると、どのような特色がみられるのか考える。
<b>第1節 九州地方</b>		
1	11	九州地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。
	12	火山の恵みと被害の両面を理解し、その利点の生かし方や防災への取り組みを考える。
	13	温暖な気候や火山活動の影響を受けた土地を生かした農業の実態をとらえ、その特色を理解する。
	14	アジアに近いという特色を生かして発展してきた都市や工業の歴史をとらえ、その特色を理解する。
	15	温暖な気候やアジアとの交流の歴史などに着目しながら、特色のある南西諸島での人々の暮らしについて理解する。
	16	九州地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第2節 中国・四国地方</b>		
1	17	中国・四国地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。
	18	本州四国連絡橋や高速道路の整備による地域の人々の生活の変化について考える。
	19	海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色について考える。
	20	他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の特色について考える。
	21	過疎化が進む山陰地域の、交通網の整備による変化について考える。
	22	中国・四国地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第3節 近畿地方</b>		
2	23	近畿地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。
	24	京阪神大都市圏の水源である琵琶湖の環境保全の重要性について考える。
	25	阪神工業地帯の現状や課題を追究し、環境保全の取り組みについて考える。
	26	京都や奈良の町なみの変化や歴史的景観を守る取り組みについて考える。
	27	近畿地方の林業や漁業の特色と環境保全の取り組みについて考える。
	28	近畿地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第4節 中部地方</b>		
2	29	中部地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。
	30	中京工業地帯や東海工業地域の特色をとらえ、輸送機械工業がさかんな理由を考える。
	31	都市向けの農業が発達した理由を考える。
	32	時代の変化とともに移り変わってきた中央高地の産業の実態をとらえる。

	33	北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を考える。
	34	中部地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第5節 関東地方</b>		
2	35	地図や景観写真、雨温図などを活用して関東地方を概観し、自然環境や人々の生活の基本的な特色を理解する。
	36	人口が集中することによって発展した産業の特色を考えるとともに、サービス業や商業がさかんな理由を、人口や交通網とのかかわりから考える。
	37	人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。
	38	関東地方の工業の発展や移り変わりを、人口の特色に着目して考える。
	39	大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。
	40	関東地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第6節 東北地方</b>		
2	41	東北地方を概観し、自然環境や人々の生活の特色を理解する。
	42	祭りをはじめとする東北地方の伝統文化を生かした観光業の発展とこれからの考える。
	43	冷夏などの厳しい自然環境を克服し発展させてきた東北地方の稲作や畑作の努力について考える。
	44	果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について考える。
	45	工業の発達もたらした人々の生活の変化について考える。
	46	東北地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第7節 北海道地方</b>		
3	47	北海道地方を概観し、自然や人々の生活の特色を理解する。
	48	北海道の人々の雪と関わる取り組みや工夫を理解する。
	49	厳しい寒さや農業に適さない土地という悪条件を乗り越えてきた稲作の歴史を考える。
	50	大規模に展開する北海道の畑作や酪農、漁業の特色を考える。
	51	北海道の豊かで特色ある自然環境を生かして発達した観光業の特色を考える。
	52	北海道地方の基本的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。
<b>第3部 日本のさまざまな地域・第4部 地域の在り方</b>		
<b>第1章 身近な地域の調査・第1章 地域の在り方</b>		
3	53	地域に対する疑問を整理して、調査するテーマを設定し仮説を立てる。
		調査を進めるための調査項目や調査方法を考え、野外調査の準備をする。
	54	野外調査と聞き取り調査を実施する。
55	調査した結果をまとめたり、資料を関連させたりして野外調査でわからなかったことを確かめ、地域の特色や課題をとらえる。	